

## 研究の概要

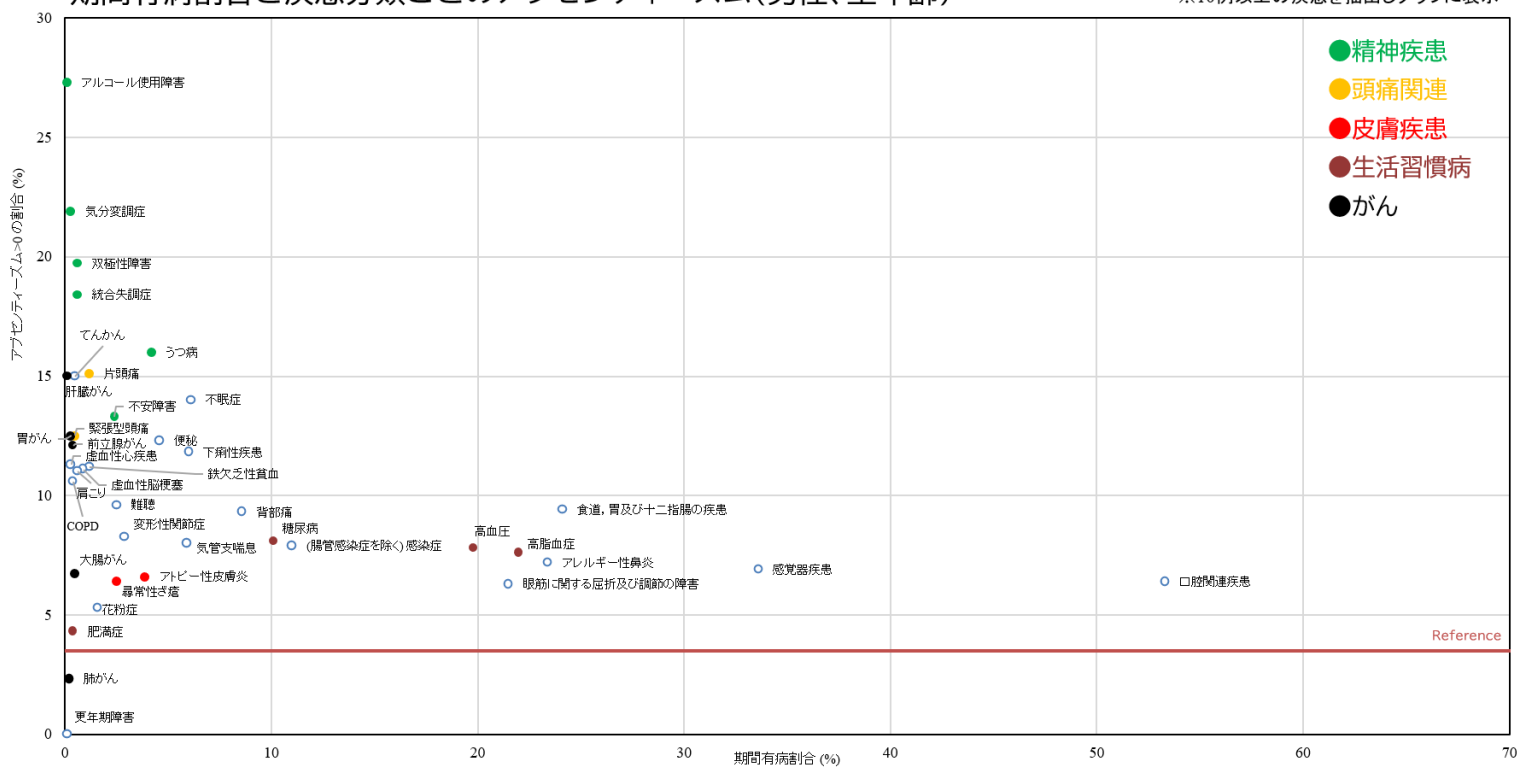
- 研究タイトル:
  - 英語原題: Work productivity by diseases diagnosed among workers: a study using large-scale claims data and survey data of workers in Japan
  - 日本語表題: 日本の労働者における診断疾患別の労働生産性: 大規模レセプトデータと労働者調査データを用いた研究
- 目的: 日本における疾患毎の労働生産性の実態を明らかにするために、疾患別の労働生産性とその損失コストを評価すること
- 評価項目:
  - WPAI (Work Productivity and Activity Impairment Questionnaire: 仕事の生産性及び活動生涯に関する質問票) のスコア
  - 性別、年代別、仕事別での労働生産損失額
- 調査対象者: 日本において多様な職種に従事する男女31,540名 (男性 22,825名、女性8,715名。健康保険組合加入者、DeSCヘルスケアが提供するアプリkencom®登録者)
- 調査方法: DeSCヘルスケアが提供する健康保険組合加入者の診療報酬明細書データとWPAIスコアを活用して、ICD-10コードの大分類<sup>1</sup>にて分類した疾患における労働生産性の実態調査を実施。
- データ取得期間: 2021年1月から2021年12月
- 対象疾患 (計44疾患):
  - 男女共通: 肝臓がん、胃がん、大腸がん、肺がん、統合失調症、気分変調症、双極性障害、アルコール使用障害、うつ病、不安障害、てんかん、不眠症、便秘、下痢性疾患、虚血性心疾患、虚血性脳梗塞、肩こり、背部痛、COPD、鉄欠乏性貧血、難聴、変形性関節症、気管支喘息、花粉症、アレルギー性鼻炎、眼筋に関する屈折及び調節の障害、感覚器疾患、口腔関連疾患、(腸管感染症を除く) 感染症、食道・胃及び十二指腸の疾患、片頭痛、緊張型頭痛、高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満症、アトピー性皮膚炎、尋常性ざ瘡、更年期障害、大腿骨頸部骨折
  - 男性のみ: 前立腺がん
  - 女性のみ: 子宮がん、乳がん、月経関連障害
- 研究実施体制:
  - 大塚製薬株式会社: 研究の立案、論文執筆、学会発表
  - DeSC株式会社: レセプトデータデータセットの提供、WPAIを用いた調査の実施、医療費グルーピング、疾患定義
  - CSS株式会社: 解析の実施
  - 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻健康管理学講座健康情報学 教授 中山健夫先生、労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター 高橋 正也センター長、京都府立医科大学 脳神経内科学 学内講師 石井 亮太郎先生: 共同研究 (アドバイザリーボード)
- 著者・所属:
  - 前川 拓也、中道 典宏、栗田 由香、中井 正三、大澤 千尋 (大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部)
  - 山戸 健太郎 (大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部 / 順天堂大学大学院 医学研究科 公衆衛生学講座)
  - 幡鎌 暁子 (DeSCヘルスケア株式会社 / データホライゾン株式会社)
  - 鈴木 一史 (DeSCヘルスケア株式会社)
  - 高橋 正也 (労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター センター長)
  - 石井 亮太郎 (京都府立医科大学 脳神経内科学 学内講師)
  - 中山 健夫 (京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻健康管理学講座健康情報学 教授)

1) ICD-10 (2013年版) 準拠 基本分類表 [kihon2013.xlsx \(live.com\)](https://www.kencom.co.jp/kihon2013.xlsx)

### アブセンティーズムと有病率(男性)

期間有病割合と疾患分類ごとのアブセンティーズム(男性、全年齢)

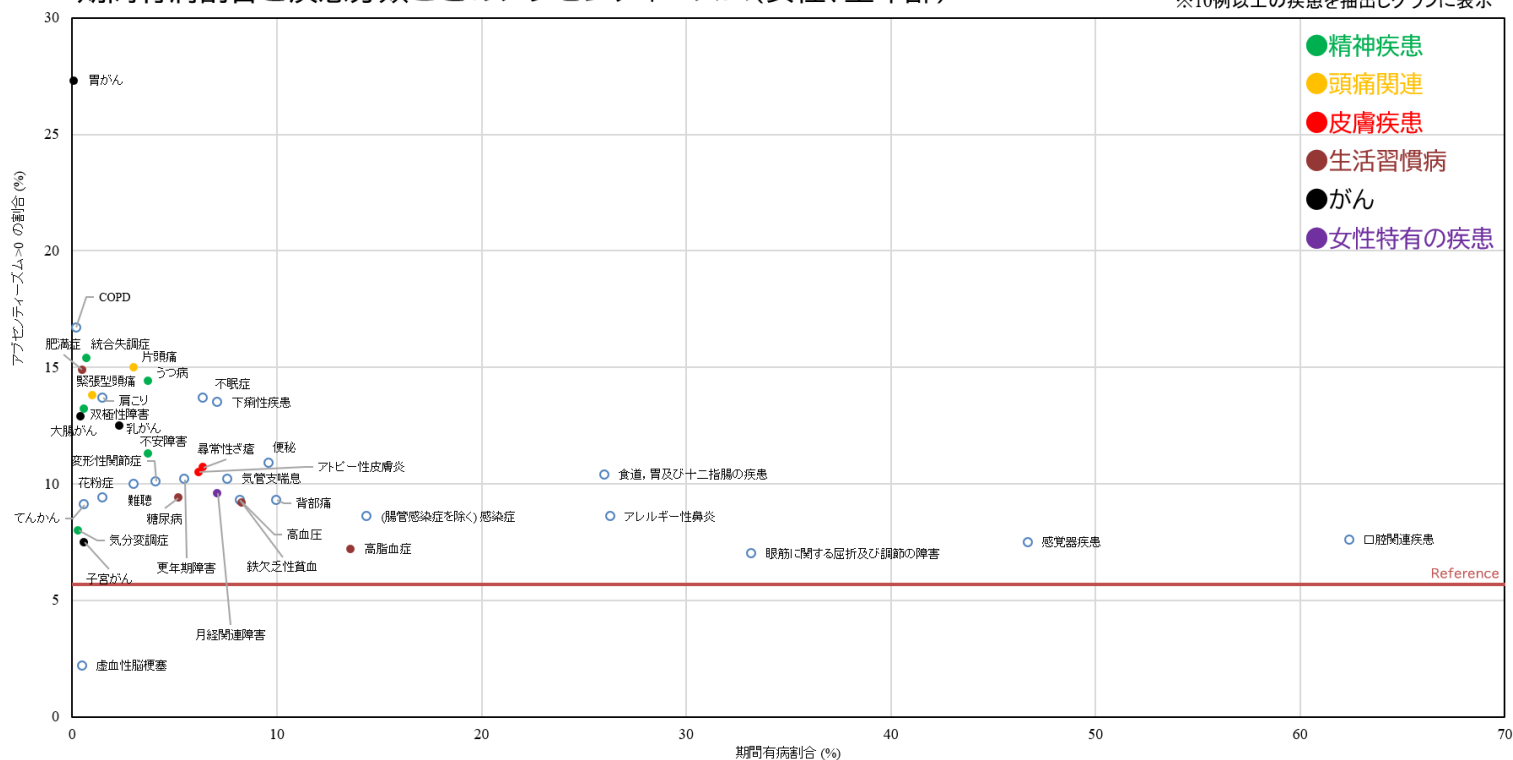
※10例以上の疾患を抽出しグラフに表示



## アブセンティーズムと有病率(女性)

### 期間有病割合と疾患分類ごとのアブセンティーズム(女性、全年齢)

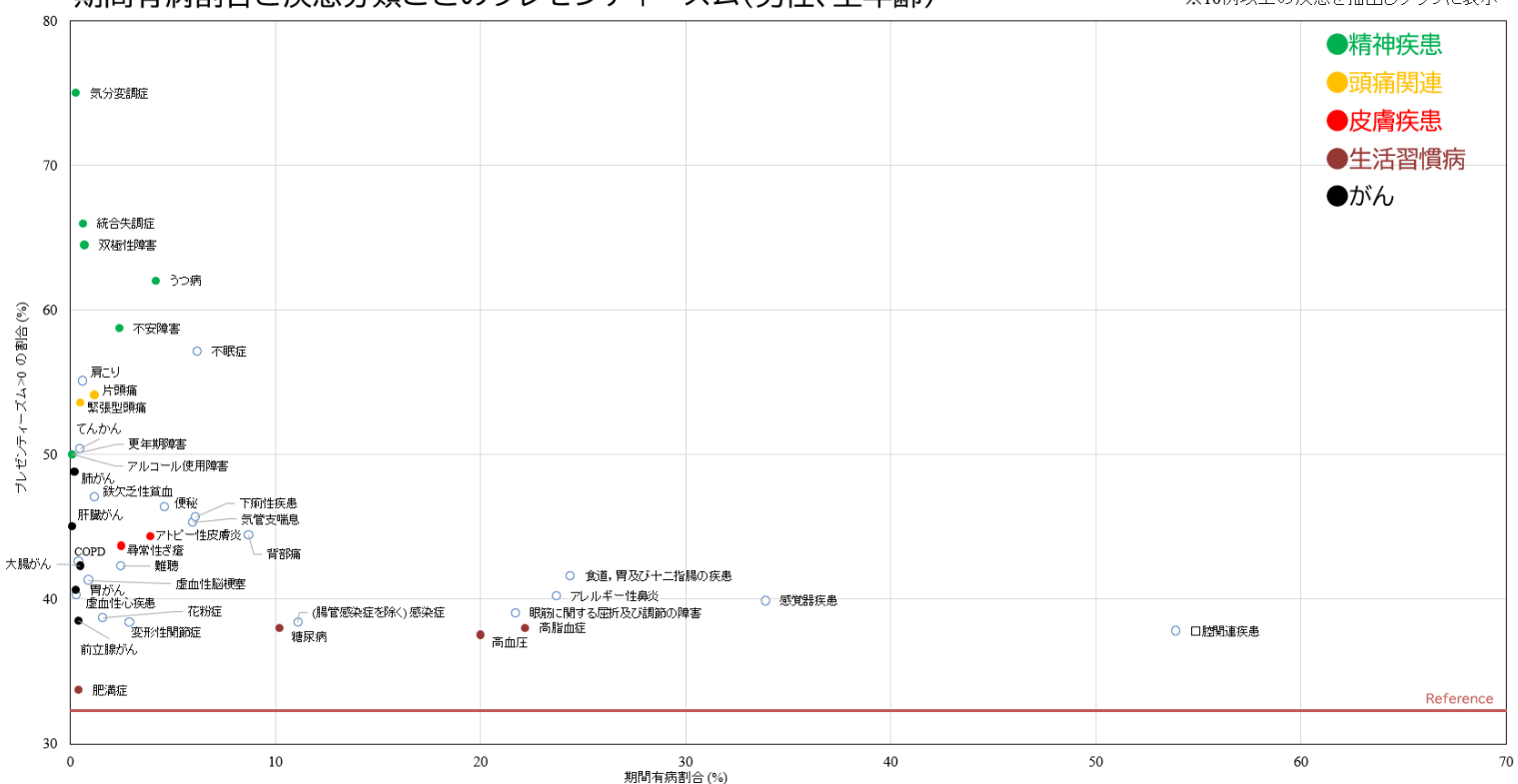
※10例以上の疾患を抽出しグラフに表示



## プレゼンティーズムと有病率(男性)

### 期間有病割合と疾患分類ごとのプレゼンティーズム(男性、全年齢)

※10例以上の疾患を抽出しグラフに表示



プレゼンティーズムと有病率(女性)

期間有病割合と疾患分類ごとのプレゼンティーズム(女性、全年齢)

※10例以上の疾患を抽出しグラフに表示

